

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド  
**伴走型・市民活動持続化支援枠助成事業報告書**

記載日： 4 年 12 月 14 日

**1. 実施した組織基盤強化プロジェクトについて**

プロジェクト名	開業 1 年目の事業継続のための基盤整備
団体名	特定非営利活動法人あいず
助成額	_____ 40 万 _____ 円
実施時期	令和 3 年 12 月～令和 4 年 12 月

**2. 実施報告**

(1) 実施項目について

- 家族会の発足準備
- ポッチャサークル設立準備
- 子ども食堂への参加
- 経営を安定するための運営資金の補填・確保するための基盤整備を行った

(2) 実施経過(何年何月に何を行ったという形でご記入ください)

(活動の様子が分かる写真を、2~3 枚別添えしてください)

●家族会およびポッチャサークルの発足について

家族会の発足へ向け、保護者の皆様やスタッフと意見交換を行ってきました。

屋外整備作業を通じて、親睦を深めることから始めようと試みたり、ポッチャサークル設立でのクラブ活動設立などを考案しました。ですが、新型コロナウイルス感染防止対策として、生活介護事業と放課後等デイの利用者様の健康と安全を確保することが優先されたため、実施・発足に至りませんでした。

●子ども食堂への参加 (4 月・5 月・6 月)

土日に同じ地域で開催される『ふくふく子ども食堂』への会場提供をしました。公民館などの施設が閉鎖となったため、施設稼働日ではない日に、会場提供というかたちで関わりを持つことができました。

●基盤整備

毎月、あの屋佐藤氏から経営・運営のアドバイス相談を受けました。

- ・定款の変更   ・住所変更   ・補助金申請   ・家族会の発足への取り組み
- ・活動報告書決算書   ・職員会議の定例化

上記項目のアドバイスを頂き、実行してきました。

職員会議は、スタッフの意見・悩みなども聞く機会となり、定例化となりつつあります。



**(3) このプロジェクトにより、組織にどのような変化がありましたか?(スタッフには～、役員には～という形でご記載ください)**

スタッフには、主たる事業となっている生活介護事業と放課後等デイについてと、その他の事業があることを説明しています。慣れない職場で、主たる事業に専念することに懸命で、その他の事業への取り組みを周知してもらえ所までは、進めていません。来期の課題として残っています。役員には、なんとか家族会が発足できるようにきっかけ作りから始めることなどの意見をいただいています。また、お便りで家族会のことなどを掲載したところ、利用者様の保護者の皆様から反響がありました。

基盤整備においては、佐藤様からアドバイスをいただけたおかげで、代表理事として精神的にも支えていただきました。経営・運営についてアドバイスを受けることが出来、会計収支決算等から日々の運営の問題点などを指摘され改善につながっているところです。コロナ禍での働き手不足から、日々の業務に余裕がありませんでした。職員会議を定例化することで、職員間の職種としての問題や利用者様の情報共有がとりやすくなりました。当たり前のことが見えなくなっていたので、大変助かりました。

今後は余裕をもって事業に取り組み、ご家族、地域に関わりを持ってご家族の支えとなれるようにしたいと思いません。

**(4) 収支決算**

※収入の部「当助成金収入（助成希望額）」と、1.助成希望額は一致させてください。行は適宜追加してください

収入の部	費目	金額 (円)	備考
	当助成金収入	400,000	
	他自主財源など	123,046	
	収入の部 合計	523,046	①
当助成金 充当支出	費目	金額 (円)	備考
	伴走型支援費用	50,000	
	補修費	41,500	トイレ補修費
	当助成金 (このプログラムで集めた寄付金)を充てる費目を記載	医療物品・備品の購入	ベッド
	〃	166,100	オキシメーター
	〃	9,933	防水シーツ
	〃	44,000	吸引器
	〃	29,013	キャスト付きワゴン
	小計	423,046	②
その他支出	費目	金額 (円)	備考
	その他支出	100,000	
	当助成金 (このプログラムで集めた寄付金)を充てない費目を記載	小計	100,000
			③
	支出の部 合計	523,046	②+③=①

**(5) 事業をすることで得られたもの**

一年間、サポートを受けることが出来、基盤整備につながりました。医療物品は高価ですが、利用者様には安心して利用していただける備えが出来たことを報告しました。また、介助の負担を減らすためにもベッドを購入できたことは、利用者様に安心して過ごせてもらえる環境作りにつながりました。

まだまだ、運営面での相談がありますので、サポートを継続していただけるように佐藤様と交渉中です。

家族会の発足へ向けて、コロナ禍での備えを考慮しながら利用者様とその家族の支えとなりますように企画・運営していきたいと思いません。

以上

【宛先】 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド 北の NPO 基金事務局  
メール npofund@npo-hokkaido.org